



# 議会広報 春号

2010(平成22年).4.30 No.18



新本庁舎の内部を視察する議員たち

## 新本庁舎の外観がお目見え

7月に開庁が予定される市役所本庁舎は、完成に向けて本体工事等が順調に進んでいます。3月中旬には、庁舎の周囲を囲う作業用の足場やシートが取り除かれ新しい外観が現れています。市議会では、3月定例会の会期中に視察を行い、庁舎内部などの工事状況を確認しました。

■特集① 座談会：新議長と語る テーマ「わたしたちが考える甲州市教育」	P 2～
■市民フォーラム「あなたが考える教育とは」	P 6
■一般質問 9人が登壇し、市政を問う	P 7～

■特集② 3月定例会報告 議案の審議 医療費の窓口無料化を小3まで拡大	P 16～
■特集③ 新年度予算の審議 151億9800万円の中身を問う	P 18～



# 座談会：新議長と語る



子どもたちの健やかな成長と良好な教育環境の整備はだれもの願い

● テーマ：わたしたちが考える甲州市教育

## 教育は人づくり そしてまちづくり

本市は、次代を担う子どもたちが健やかに成長することができる教育環境づくりや、子どもから高齢者までが、自分らしく心豊かな生活を送るための生涯学習や生涯スポーツを推進しています。

今回の座談会では「わたしたちが考える甲州市教育」をテーマに、市内から3人の皆さんにご登壇いただき、岡武男議長を囲んで本市の教育行政について、ご意見やご提言を伺いました。（なお、座談会の内容等は、開催日である平成22年2月26日時点の状況を掲載しています。）

**議長** 今回の座談会は、それぞれの分野で活躍される皆さんから、甲州市の教育に対するご意見やご提言をお聞きしたいと思えます。本市では第1次総合計画の基本目標のひとつに「心豊かな人を育む教育・文化のまちづくり」を掲げ、これまでも各教育事業の充実に向けた取り組みを行ってきました。まず始めに、小中学校に通う子どもたちには、どのような教育が求められているのでしょうか。

**根岸** 各小中学校は、本市の教育目標である「たくましく心豊かな人づくり」に近づけるよう、職員一丸となり努力しています。この教育目標や児童・生徒の実情を見ると、心身のバランスがとれた

子どもの育成が最も求められていると考えています。

**田邊** 最近の子どもたちは、親や地域の人たちとの交流が少なく感じます。地域行事などに親子で参加し、触れ合いの時間を持ちながら豊かな心を育むことが大切です。

**木下** 人は1人で生きていくことはできません。日常の学校生活や遊びを通して、仲間づくりは大事だと感じます。周りの人と関わりながら、互いに成長していくことや、他との信頼関係の大切さを教えることが必要だと思えます。

**議長** これからも自主性や社会性や協調性など、子どもたちの「生きる力」を育む教育環境づくりを推進していきたいと考えています。





甲州市議会

岡 武男 議長



社会教育委員

木下みどりさん  
(大和町初鹿野)



前体育協会会長

田邊裕人さん  
(塩山下於曾)



前神金小学校校長

根岸徳雄さん  
(塩山下小田原)

## すべての学校に 散水施設の整備を

**議長** 市では校舎などの耐震化や大規模改修をはじめ、さまざまな学校施設の整備を順次進めています。皆さんが必要と考える施設整備があればお聞かせください。

**根岸** 体育授業などの際に校庭の砂ぼこりを防ぐため、未整備の学校には散水施設の

整備をお願いしたいです。また、今やパソコンは教職員にとっても、テスト問題の作成や成績処理などのため必需品です。ぜひ、全教職員に1台ずつのパソコンを整備してほしいと強く思います。

**議長** 教職員に対する1人1台パソコンの整備は大きな課題であり、市当局で予算等を含めた検討をしています。

**木下** 大和小学校の校庭にも散水施設は未整備です。以前、運動会の当日、砂ぼこりのひどい時がありました。その時に施設の必要性を感じました。また、最近は校庭などの芝生化が増えているようですが、本市には芝生化の計画はあるのでしょうか。

**議長** 県内でも導入している市町村があり、昨年視察に行つて事業概要を調査してきました。芝生化には散水施設

が必要のため、まずは散水施設の整備を進めていくことが望ましいと考えています。

**田邊** スポーツ振興くじの収益金を活用した助成金事業があり、いくつかの自治体は申請をして芝生化を進めていると聞きました。本市でも申請を検討すべきと思います。芝生のグラウンドは、体育の授業やスポーツ振興に役立つことでしょうか。

## もっと生かしたい 学校支援ボランティア

**議長** これからの学校教育は、地域の協力や支援が求められています。現在本市では学校支援ボランティアの皆さんが活動していますが、わたしたちは自分の知識や技能を生かす中で、どのような学校支援ができるでしょうか。

**木下** 学校が必要とし、かつボランティアも協力可能な学習面の支援でしょうか。子どもたちの想像力を育むための基礎知識や本に親しめるような支援、体験学習などへの支援が考えられます。

**田邊** 学校支援ボランティア事業は、授業以外の仕事について先生方の負担を軽減する目的もあると思いますが、実際に効果を挙げているのでしょうか。

**根岸** 学校側には遠慮の気持ちがあり、ボランティアの支援を生かし切れていない状況があります。今後は活用する意識や流れを作ることが必要だと感じています。

**議長** 現在、ボランティアと学校の調整役であるコーディネータは1人ですが、この事業の活性化には増員が必要と考えています。



# 座談会：新議長と語る

## 指導者を育成して生涯学習の推進を

**議長** 次に子どもたちの安全対策について伺います。子どもを対象にした犯罪の増加に伴い、市では不審者情報等のメール配信や登下校の時間に青色パトロール車を巡回させるなど、安全対策を強化しています。現状の取り組みに対するご意見や新たな提言があればお聞かせください。

**木下** 子どもの安心安全ネットや青パトの運行は、効果的な取り組みの一つだと思います。しかし、子どもたちを見守る地域の人々との交流も大切だと感じます。大人も子どももあいさつを交わすなど、日頃からの声かけや触れ合いが、安心・安全対策につながるのではないのでしょうか。

**根岸** 市内の全学校には不審者や暴漢者への対策として、緊急警報装置や刺又が設置されていますので、現状においてハード面の対策は充実していると考えています。

**議長** 育成も必要でしょう。**田邊** 地域における生涯学習の活動拠点は、公民館施設を中心に行われています。しかし、合併して5年目を迎えました。合併によって公民館活動の手法に違いがあることから、合併市として一体化に向けた取り組みが望まれています。

**議長** 本市では、だれもが心豊かで自分らしい生活を送るために、生涯学習活動を推進しています。より一層活

発化していくために必要なことは何でしょうか。**根岸** 公民館活動やスポーツ活動の中で、皆をリードするような核となる人材を増やしていくことが一番重要であると思います。

**議長** 交流という観点から考えると、2月20日に市民文化会館で開催された童謡フェスティバルは約700人が集まり、大きな盛り上がりを見せた意義ある催しであったと思います。皆さんの感想をお聞かせください。

**田邊** 当初はベートーベンの第九を歌う構想だったようです。しかし、子どもからお年寄りまで多くの方が参加しやすい催しにするため、日本の童謡を歌うことになったと聞いています。回を重ねるとに盛況になっていくことは喜ばしいことです。

**議長** 本市では、だれもが心豊かで自分らしい生活を送るために、生涯学習活動を推進しています。より一層活

発化していくために必要なことは何でしょうか。**根岸** 公民館活動やスポーツ活動の中で、皆をリードするような核となる人材を増やしていくことが一番重要であると思います。

**議長** 交流という観点から考えると、2月20日に市民文化会館で開催された童謡フェスティバルは約700人が集まり、大きな盛り上がりを見せた意義ある催しであったと思います。皆さんの感想をお聞かせください。

**木下** このイベントの趣旨にふさわしく、市民が一体となり皆さんの歌う姿に意気込みを感じます。公民館長主事会主体の催しですが、わたしも地区から、まとめ役として協力しました。年配の方から「遠い会場まで当日の交通手段をどうしよう」という声が多くありました。他の催しにも共通しますが、参加しやすい開催時間やシャトルバスの運行などの工夫を願っているようです。



地域活動等において各自の知識や技術を教え合うことがリーダーや指導者を育むことにつながる

**木下** 合併前の大和村では、行政が生涯学習事業など公民館活動をリードしてくれました。学習や趣味が自発的であれば楽しいものです。その学習意欲の一助として、公民館を地域住民が、公平でより身近に利用できるように考えていく必要があると感じます。根岸さんのおっしゃるように、地域のリーダーとなれる人材

**議長** やはり課題になることは、リーダーや指導者の育成だと思えます。それぞれの地域活動において知識や技術を教え合うことが、核となる人材を育むことにつながっていくのでしよう。

**議長** 今年のフェスティバルは、昨年よりも参加者が大幅に増えていました。童謡がテーマですが、子どもからお年寄りまで、世代を越えたタイムリーな企画であると感じています。また、指揮者やピアノの伴奏者は、多くの元教職員の方々にご尽力いただきましたが、このような人たちを巻き込むことによって、生涯学習活動が活発になると感じました。



# スポーツ振興は底辺の拡大が必要

**議長** 生涯スポーツの普及と促進についてお聞きします。スポーツは健康づくりや体力の向上に役立つだけでなく、人と人の親睦や交流を深め、豊かな地域社会を育むものとして大きな役割を担っています。スポーツ活動をより一層盛んにしていくために必要なことは何でしょうか。

**田邊** 今までの体育協会は、競技スポーツの普及や強化に力を入れてきました。しかしこれからは、運動習慣のない人たちにも気軽に始めてもらえるような取り組みが必要だと考えています。その意味で昨年度から参加している「甲州市チャレンジデー」は、運動を始めるきっかけづくりのイベントとして有効だと思います。

**根岸** スポーツ振興も生涯学習の推進も、底辺を拡大することが最も必要になります。それには、市民が求める催しを企画することが良いのではないのでしょうか。

**木下** 合併前ですが、旧大和村の体育指導委員を務めていました。県や郡の研修会に参加すると、新しい軽スポーツを勉強することができ、地域の運動会の競技に取り入れることもありました。だれもが参加できる軽スポーツを、機会を捉えて広めていくことが生涯スポーツの普及につながっていくと思います。

**田邊** 近年、全国的にウォーキング人口が増加しています。

す。ウォーキングは、だれでも気軽に親しめる軽スポーツです。体育協会では昨年11月に「健康ウォーキング・イン甲州」を開催したところ、約2000人の参加があり大変好評をいただきました。今後は体育協会としても、軽スポーツやウォーキングなどを中心にした生涯スポーツの普及に力を入れていく必要があると感じています。

**議長** 次に、競技的スポーツを含めた生涯スポーツの普及を図る上では、施設整備の充実も必要になります。市内の体育施設について、ご意見があるでしょうか。

**根岸** 各学校の体育施設は、利用者から感謝の声を聞いています。また使用後の清掃整備も徹底していて、利用マナーも良いと感じています。

**木下** 市内には良い施設が揃っています。しかし駅やバス停などから遠い施設もあり、車の運転ができない小中高生や高齢者には利用しにくいようです。

**田邊** 学校施設以外の体育施設を充実してほしいと思います。広さが不十分で水はけの悪いグラウンドがいくつかありますが、改善整備をお願いしたいです。

## 教育をとおして 住民一体感の醸成を

**議長** では最後に全体をとおして、これからの甲州市教育に対して希望されることをお伺いします。

**木下** 未来を担う子どもたちが、幼い頃から甲州市の良さを感じることができ、教育を進めてほしいと思います。

**根岸** 今後は一層少子化が進むため、地域との連携をさらに進めながら、潤いある児童・生徒の集団をつくっていく必要があると思います。

**田邊** 合併を経て課題も残る甲州市ですが、教育をとおして住民の一体感を醸成することを望んでいます。

**議長** 教育は人づくりであり、それはまちづくりにつながります。しかし、総合的な教育環境の向上には、多くの課題があります。市民の皆さんと協働しながら、より良い甲州市教育の実現に向けて研さんすることが市議会の責務であると感じています。今回、皆さんからいただいた貴重なご意見を教育施策に反映できるように努力していきたく思います。本日はありがとうございました。



皆さんから出された多くのご意見をこれからのまちづくりに生かしていきたい



テーマ「あなたが考える教育とは」



自己学習が生き甲斐になれば

萱原春美さん（塩山上於曾）

わたしの家は、塩山駅から恵林寺に向かう途中にあります。ある日、中国からきた観光客に道を聞かれて大変慌てました。何とか漢字を書いて話をしましたが、うまく説明できないもどかしさを感じました。以前、テレビで「大地の子」を見て以来、中国語を少しでも学びたいと思っていたので、それを機に友人と学び始めました。しかし、まったく進みません。還暦を過ぎて忘れっぽくなっていることもあり、学習時間が「お茶会」で終了することもしばしば。でも、夢を語り合っただけで前向きに挑戦しています。少しでも理解できるようにすることが目標です。わたしの学習が地域や社会につながりを持ち、少しでも役立てば大きな生き甲斐になるなあ、と思っています。



家庭で身に付けさせたい習慣

平山恭市さん（大和町田野）

「早寝早起き」より「早起き早寝」の習慣が良いと最近勉強しました。眠りたい時に眠ることが一番のメンタルヘルスということ。今日はいい1日だった」と思うような生活を送ってほしいと思います。現代はストレス社会なので、子どもたちにも自分に合った解消法を身に付けさせたいと思います。感動の名作を見て涙を流すとか、スポーツで汗をかくとか、大きな声で歌を歌うとか、また、1日3食の食事を規則正しく、よく噛んでバランスを取りながら食べることを心掛けるなど方法はさまざまです。睡眠・運動・食事・家族とのコミュニケーションを大事に、良い習慣を家庭で身に付けさせて健全なる成長を願うものであります。



スポーツでつくる交流や信頼

若月聖裕さん（塩山下於曾）

わたしは、スポーツを通じて地域の子どもたちに関わっています。子どもたちとの会話の中で気付いたことは、「○○をきなさい」、「○○しろよ」など、常に大人が「上の立場」から物を言うと、信頼関係は築けないということです。「子ども」と見るより、「仲間」として話をすることによって信頼関係をつくるのが、お互いの成長につながっていくのではないのでしょうか。わたしたち大人は、教育する立場にあると思いがちですが、実は子どもたちから学ぶ事も多いと思います。このようにスポーツをとおした中で、人と人との交流や信頼関係を育てていくことは、運動技術を身に付けること以上に大切なことではないでしょうか。



自立して歩める人の育成を

三森かおりさん（勝沼町菱山）

子どもと正面から向き合い、話し合うことを始めませんか？あいつは交わっていますか？子どもとの信頼関係が家族や学校でありますか？子どもは純真であり、悪い子はいません。それを変えているのは、家庭・学校・地域の環境であり、大人たちです。真剣に受け止める大人には、子どもは信頼関係を結びます。教育の場で、自分の都合で行動し、学校や地域に物を言う、忙しい、面倒くさいと伝統を変えていませんか？子どものために行動していますか？家庭や学校だけでなく、地域でも社会の担い手である子どもたちに関わる場をつくり、地元の誇れる産業・伝統・文化を伝承していく努力が必要だと思います。これからますます社会は激変していきますが、自立して歩める人を育てましょう。



# 市政を問う

3月議会では9人が一般質問を行いました。  
それぞれ要約してお伝えします。

一般質問

一質

野尻陽子議員

Q 水道料金はどれくらい値上げするのか

A 健全経営の試算金額を審議中である

結局は一般会計からの繰入金により補てんすることになるのか。

答 建設部長 下水道事業は、将来を見据えた公共事業である。現在を生きる者の責任として、環境保全も含めた下水道整備が必要と考えている。

問 1世帯を下水道化する費用、市の管理型合併浄化槽にする費用を伺いたい。

答 建設部長 平成20年度決算額で算出すると、1世帯あたりの下水道費用は202万円、合併浄化槽費用は約104万円となる。

問 民間企業から市に寄付されたゴルフ場計画跡地の利用方法は、市民のアイデア等を生かすため、市民検討会などをつくることはできないか。

答 総務企画部長 そのような場を設けていきたい。

問 生ごみ減量化への取り組みを伺いたい。

答 市長 本年度に引き続きごみゼロキャンペーンを実施し、減量化やりサイクルに取り組んでいく。

問 本市の人口について、これまでの変化と今後の予測を伺いたい。

答 市民生活部長 平成12年が3万8095人、本年3月1日現在で3万5669人である。平成29年には約3万3810人になると予測している。

問 本市は30年後に1万人位の人口が減るであろう

ことを加味して、地域の社会資本づくりを計画しなければ、将来の世代に重いツケを残すと考えるが見解を伺いたい。

答 市民生活部長 市の政策には、当然人口を考慮していかなければならないと考える。

問 本市の財力の現状と今後の予測を伺いたい。

答 総務企画部長 平成20年度は、市税が約48億円、

地方交付税が約49億3000万円であった。今後は市税の急速な増収は見込めず、

交付税も平成28年度から段階的に減少していく。平成20年度の基金総額は約24億1000万円であるが、全

会計の負債合計額は、約414億5000万円である。

問 上水道会計の状況を伺いたい。

答 水道課長 平成20年度決算は、収入が約4億900万円、支出が約4億3500万円である。

問 琴川ダムからの受水量と負担金を伺いたい。

答 水道課長 上水道と簡易水道を合わせて、1日当たり5600立方メートルを受水している。受水費は年間2億3610万円である。

問 水道料金は、どれくらい値上げをするのか。

答 水道課長 欠損金は平成20年度が2800万円、21年度も同程度が見込まれる。現在、健全経営のための試算金額を水道審議会

で審議している。

問 下水道会計の状況を伺いたい。

答 建設部長 平成20年度の歳入歳出は、いずれも約19億円である。

問 すべての下水道工事が完成すると、下水道料金はいくらになるのか。

答 建設部長 完成時点の汚水量、利用者数、処理費用などを勘案し、その時代背景に即した料金設定になると考えている。



今年度も赤字が見込まれる水道事業。料金の改定は市民への十分な説明が求められる



# 一般質問

## 一質

議員三匠屋古

Q

### 宮光園を観光振興にどう生かすのか

A

### 近隣施設と連携を図って振興する

問 近代産業遺産である宮光園の主屋は、観光交流や歴史文化の振興を目的に修復整備されているが、周辺地域の皆さんと駐車場やゴミステーションの移動など、周辺の環境整備について協議をしているのか。

答 観光産業部長 施設の公開までには、周辺地域のご理解とご協力を願うことがないと考える。今後とも話し合いに努めていく。

問 宮光園を観光振興に生かすための取り組みを伺いたい。

答 観光産業部長 幸い近隣には、ワイナリーなどぶどうやワインに関係する施設が集まっている。相互に連携を取りながら、観光振興を図っていく。

問 県立射撃場の建設は、本市に寄付されたゴルフ場計画跡地の森林に計画されている。射撃場の建設地以外の活用計画を伺いたい。

答 総務企画部長 森林の調査からは、環境保全機能と木材生産機能のバランスが良い優れた森林であると考えられている。間伐や植林を行いながら、社会貢献に取り組み企業やNPO等と連携した森林づくりに取り組みでいきたい。



主屋の修復工事が進む宮光園。近代産業遺産としての価値を高め、観光振興につなげていきたい

問 甲州市原産地呼称ワイン認証制度の周知と運用についてお聞きしたい。

答 観光産業部長 平成22年度は、制度のポスターや冊子を作成して啓発活動を行っていき。運用は審査会による書類審査と官能審査の基準に適合したワインを市長が認証する。

問 甲州市原産地呼称ワイン認証制度の周知と運用についてお聞きしたい。

答 観光産業部長 栽培奨励補助金制度や苗木供給対策事業により、品質の高いワイン生産と農家所得の向上に努めていく。

# 一質

議員三匠屋古

Q

### 宮光園を観光振興にどう生かすのか

A

### 近隣施設と連携を図って振興する

問 近代産業遺産である宮光園の主屋は、観光交流や歴史文化の振興を目的に修復整備されているが、周辺地域の皆さんと駐車場やゴミステーションの移動など、周辺の環境整備について協議をしているのか。

問 宮光園を観光振興に生かすための取り組みを伺いたい。

答 観光産業部長 幸い近隣には、ワイナリーなどぶどうやワインに関係する施設が集まっている。相互に連携を取りながら、観光振興を図っていく。

問 県立射撃場の建設は、本市に寄付されたゴルフ場計画跡地の森林に計画されている。射撃場の建設地以外の活用計画を伺いたい。

答 総務企画部長 森林の調査からは、環境保全機能と木材生産機能のバランスが良い優れた森林であると考えられている。間伐や植林を行いながら、社会貢献に取り組み企業やNPO等と連携した森林づくりに取り組みでいきたい。

問 甲州市原産地呼称ワイン認証制度の周知と運用についてお聞きしたい。

答 観光産業部長 栽培奨励補助金制度や苗木供給対策事業により、品質の高いワイン生産と農家所得の向上に努めていく。

問 主屋の修復工事が進む宮光園。近代産業遺産としての価値を高め、観光振興につなげていきたい

問 甲州市原産地呼称ワイン認証制度の周知と運用についてお聞きしたい。

答 観光産業部長 栽培奨励補助金制度や苗木供給対策事業により、品質の高いワイン生産と農家所得の向上に努めていく。

問 甲州市原産地呼称ワイン認証制度の周知と運用についてお聞きしたい。

答 観光産業部長 栽培奨励補助金制度や苗木供給対策事業により、品質の高いワイン生産と農家所得の向上に努めていく。

問 甲州市原産地呼称ワイン認証制度の周知と運用についてお聞きしたい。



# 一般質問

## 一質

廣瀬重治議員

### Q

## 環境センターの稼働はいつまでか

### A

## 甲府・峡東地域ごみ処理施設の稼働まで

問 三日市場地内にある

環境センターの煙突は、地域住民の要請もあり解体撤去工事が実施されたが、周囲の環境に配慮しながら安全に工事が行われたのか確認したい。合わせて環境汚染の防止や解体物の適切な処理は、どのような方法で行ったのか伺いたい。

答 市民生活部長 周辺地域には、事前に工事内容

とダイオキシンの飛散防止対策等に関する説明会を開催して理解を得た。ダイ

オキシンや粉じん等の飛散防止対策は、煙突の最上部及び周りにシートをかけて密閉した。最下部には作業場を設けてシートで密閉し、ダイオキシン類を99・9割以上カットできる高性能な集じん機を設置して粉じん等の吸引を行った。また、

床面にはコンクリートを敷き、排水などが漏れないように努めた。

問 煙突内部を高圧洗浄して出た汚水は、すべてをポンプで吸い上げドラム缶に入れて密封し処理施設へ搬送されたようだが、外部への流出はなかったのか。

また、汚水の搬出業者はだれになるのか伺いたい。

答 市民生活部長 汚水が外部に漏れないよう、コンクリートの床を作り対応した。ドラム缶で約29本分の汚水を、県外の民間処理施設で処分した。搬出業者は甲州市である。

## 煙突解体工事に際し汚染調査をしたのか

問 解体工事の前後に、環境センターの土壌汚染調査は行われたのか。

答 市民生活部長 土壌汚染調査は実施している。3月末には結果が出てくる

予定である。

問 解体によって出された廃棄物の最終的な処分の責任は、搬出業者である甲州市にある。処分業者から安全処理を示すマニフェストが返還されると思うが、地域の住民に公表することはできるのか。

答 市民生活部長 公表していく考えである。

問 市長が完全停止を公約した環境センターは、事業系ごみの積み替えや粗大ごみの持ち込み場所として稼働している。今後の見通しを伺いたい。

答 市民生活部長 現状では移転先がない。甲府・峡東地域ごみ処理施設が稼働するまで、環境センターの利用をお願いしたい。

問 甲府・峡東地域ごみ処理施設は、計画の遅れが報道されている。また、市役所庁舎の移転に伴い、環境課の執務場所が本庁舎に移ると、ごみの積み替えや

粗大ごみの受け入れなど、環境センターの管理体制が変わってくる。これらの状況は、環境センターの閉鎖につながるのか。

答 市長 甲府・峡東地域ごみ処理施設は、平成27年までの稼働に全力を挙げている。地元の方には、現状をご理解いただいていると考えている。

問 事業系ごみの積み替えがなくなれば、環境センターは不要になると考えてよいのか。

答 市長 粗大ごみ処理が行われているため、状況を踏まえて検討していく。

問 今までの経過を踏まえると、環境センターで粗大ごみの収集を継続していることに問題意識を感じるがどうか。

答 市民生活部長 粗大ごみの回収場所は、拠点回収を実施することで解決できると考えている。

問 環境センターで事業系ごみの積み替えを行える期限が来年に迫っている。契約の更新は、地元の意見をくみ取ったものにすべきと考えるがどうか。

答 市長 誠意ある姿勢を示したいと考えている。



煙突が撤去された環境センター。現在も事業系ごみの積み替えと粗大ごみの受け入れは行われている



# 一般質問

## 一質

田邊民男議員

**Q** 県立射撃場 規模縮小でも受け入れられるのか

**A** 計画見直しの結果を待って判断する

問 県が上小田原地内の山林に建設を計画している射撃場は、国際大会も開催可能な規模であり、地域の活性化や市有地の有効活用が期待されることから、本市で受け入れを決定した。その後、地元住民や各種団体等への説明会が開催され、防災面を含めた安心安全対策を最優先にした建設が要望されてきた。しかし県は、

今年度の3月2日に予定よりも多額となった事業費の圧縮を図るため、平成21年度の補正予算を凍結すると発表したが、地元地域はただ驚くばかりである。この間、本市ではどのような対応をしたのか伺いたい。

答 市長 県からは、土砂災害防止法に基づく基礎調査の結果、建設予定地内にある「中の入沢」に防災

施設を設置しない場合は、一部が土砂災害特別警戒区域に入るとの説明を受けた。これにより、防災えん堤の拡充や騒音・鉛対策などによる事業費が当初の想定より約6億5000万円増加するため、平成22年度当初予算への建設費の計上を見送り、コスト削減に向けて計画を再検討するとの申し出があった。県は市議会と

場合、市では集落の防災工事について、どのような対応を考えているのか。

答 副市長 今後も安全に万全を期した防災施設の整備を大前提として、建設計画の早期見直しを働き掛けていく。

問 本市への建設を完全に約束させるのであれば、建設に必要な進入路の着工を要望すべきと思うが考えを伺いたい。

答 市長 進入路となる林道の整備は早急な着手を申し入れてあり、県から実施の回答を得ている。

問 射撃場の建設予定地以外の土地活用を考える中で、市民の声や地元住民の意見を聞く機会を設けながら計画を進めてほしいが考えを伺いたい。

答 総務企画部長 整備場所を5つのエリアに区分し、間伐や植林等の整備を行っていく。また、企業やNPOなどの各種団体と連携した森づくりに取り組み、都市の人々と地域住民の交流を図りながら、地域の活性化につなげていきたい。今後は多くのご意見を活用計画に反映させていく考えである。



県立射撃場の受け入れは地域の活性化に役立つ施設であることが大前提となる

神金地区区長会に状況説明を行い、神金地域の皆さんには、区長から報告をしていただいている。

問 地元地域では射撃場の建設に伴って、周辺の土砂災害対策が強化されることに期待があった。しかし、県の計画見直しは防災面や施設規模の縮小が前提条件であり、建設の中止もあり得ると感じている。この状況下において、本市の対応を伺いたい。

答 市長 市では本年度中の着工を目指していただ

けに、計画の遅れは非常に残念である。また、射撃場周辺において本市が計画している森林の保全と活用、それに伴う地域の活性化計画への影響が懸念されるが、県は速やかに計画を見直し、できる限り早期の完成を目指す意向であるため、再検討の結果を待って判断したいと考えている。

問 再検討の結果、射撃場施設の規模が縮小された場合でも、建設を受け入れる考えなのか。

答 市長 地域の活性化に役立つ施設であることが受け入れの大前提である。再検討の結果を待って判断していく。

### 建設中止の場合の土砂災害対策は

問 射撃場予定地に近い小松尾集落の土砂災害が最も心配される。万が一、射撃場の建設が中止になった



# 一般質問

## 一質

佐藤大輔議員

### Q

## 甲州市全体のイベントが必要ではないか

### A

## 市民と協働して新たなものを生み出したい

問 各種イベントの見直しをどのように進めていくのか伺いたい。

答 観光産業部長 公費支出が伴うすべてのイベントについて、統合などを検討していく。また、市民団体との協働や連携、コストの削減に取り組んでいる。

問 観光交流イベント等に対する今後の考え方を伺いたい。

答 観光産業部長 一部の事業で統合を予定している。大菩薩峠登山競走と勝沼ぶどう郷マラソン大会は統合を決定した。今後も見直しや統廃合を考える場合は、実行委員会や市民の皆さんのご意見を聞きながら進めていきたい。

問 甲州市全体としての新規イベントが必要だと考えるがどうか。



合併して5年目。市民が一体感を覚えるイベントの誕生が待たれている

あると考えている。

問 市では県外の観光客を対象に、甲州市に対する印象や要望に関するアンケート調査を実施した。その内容と結果を伺いたい。

答 観光産業部長 対象者は1000人とした。その内、甲州市を知っている人が50・3割、訪問歴がある人が28・7割であった。また、訪れた時の満足度は、第1位が自然環境や景観、第2位が施設の見学や体験、不満度は、第1位が観光施設間の移動、第2位がト

イレと駐車場の不備、第3位は観光案内と道路標識であった。

問 認知度50割や不満足の項目に対して、どのように対応していくのか。

答 観光産業部長 市のPRビデオを製作して認知度アップを図っていく。ソフト面は平成22年度から対応できるものが多いと考えている。

問 まちのソムリエ事業の概要を伺いたい。

答 総務企画部長 まちの自然、歴史、文化、観光、風習などを学び、もてなしの心で来訪者に甲州市の素晴らしさを紹介していただくものである。現在86人いるが、今後はさまざまな場面で活躍する機会を作っていく。

問 市長はEU諸国における甲州種ワインの販路を開拓するため、イギリスのロンドンでプロモーション活動を行ったが、その成果

をお聞きしたい。

答 市長 各プロモーションにおいて良質な白ワインであると評価された。EU諸国への販路拡大につながる大きな役割を果たしたと実感している。

問 ワイン醸造用甲州種ぶどう苗木供給事業の詳しい内容を伺いたい。

答 観光産業部長 事業の目的は、ワイン用甲州種ぶどうの安定生産等である。醸造用甲州種ぶどうを生産する農家と契約栽培を確約している市内のワイン製造業団体に対して、醸造用甲州種ぶどうの苗木購入費を2分の1助成していく。購入した苗木は、無償で契約農家に配布される。

問 甲州市原産地呼称ワイン認証制度の審査方法などを伺いたい。

答 観光産業部長 まず、ほ場の確認が行われる。その後、書類審査、官能審査、ラベル表示審査に適合したワインが認証される。

問 新本庁舎地下テナントの入居状況を聞きたい。

答 総務企画部長 1件の入居申請を受けている。テナントが埋まるまで募集を続けていきたい。



**一般質問**  
川口信子議員

**Q** 新年度 予算編成 市民生活の実態を捉えているか

**A** 市民生活を応援する予算を編成した

**問** 本市の平成22年度予算は、厳しい経済・雇用情勢における市民生活の実態をどのように捉えて編成したのか。

**答** 総務企画部長 子ども医療費助成事業の対象年齢引き上げや高齢者介護サービス利用者負担軽減事業の導入、特定健診個人負担金の無料化、雇用の確保など市民生活を応援する予算を編成した。

**問** 新年度予算で廃止や縮小された事業があるのか伺いたい。

**答** 総務企画部長 廃止した事業はない。縮小した事業は、市長・議長・教育長の交際費、職員人件費の削減などがある。各事業の実績を精査して16事業を縮小した。

**問** 国民健康保険税の減免制度を本市独自で創設してほしいがどうか。

**答** 福祉保健部長 国は平成22年4月から、倒産や



医療機関で必要な国民健康保険。景気低迷による失業者等の増加から保険税の減免制度導入を求める声がある

リストラなどにより失業された方の国保税を7割・5割・2割に軽減する制度を新たに設ける。本市の軽減制度の見直しは、国の動向を勘案して検討したい。

**問** 急な倒産やリストラにより、国保税を納めることができない人たちへの対応はどうするのか。

**答** 福祉保健部長 国保担当や税務課収納担当に相談し、納税猶予や分納の手続きを取っていただきたい。

**問** 水道課長 琴川ダムの受水も原因であるが、将来にわたって安全な水道水を恒久的に供給できる水源として、飲料水の安定が図られたと考えている。

**問** 中小零細企業の仕事確保や安定化のため、小規模工事登録制度の創設を求めるが考えを伺いたい。

**答** 総務企画部長 今までも緊急を要する小規模工事等は、市内業者に発注をしてきた。現在、小規模工事登録制度のメリットとデメリットを検討中である。

**射撃場の建設 本市の判断は**

**問** 県が県立射撃場の当初計画を大幅に変更した場合に、建設予定地である本市はどのような判断をするのか伺いたい。

**答** 副市長 県が見直した計画の内容を市民の皆さんに広くお知らせし、地元である神金地区の皆さんのご理解を得る中で、議会とも協議して判断していく考えである。



# 一般質問

## 一質

矢野義典議員

### Q

特別養護  
老人ホーム  
入所待機者数を把握しているか

### A

昨年4月現在で296人である

検討していきたい。

問 地域整備を進める上で、建築や土木等の技術職員を増員することが必要だと考えるがどうか。

答 総務企画部長 将来の事業量を見据える中で、計画的な採用をしていく。

問 特別養護老人ホーム等の入所待機者数を把握しているのか。また、待機者の解消に向けた取り組みを伺いたい。

答 福祉保健部長 市内では、昨年の4月現在で296人の待機者がいる。介護保険事業計画に地域密着型特別養護老人ホームの整備を盛り込むなど、待機者の解消に取り組んでいる。

問 介護保険の申請から認定までの期間が長いが、期間を短縮するための取り組みを伺いたい。

答 福祉保健部長 介護認定審査会の開催を月10回から12回に増やした。また、介護認定調査員も2人増員して対応している。

問 高齢者専用の賃貸住宅等を設置したらどうか。

答 福祉保健部長 次期介護保険事業計画に向け、市民ニーズ等の調査をしていきたい。



新築住宅やリフォームで適用される住宅版エコポイント制度を地域の経済活性化につなげていきたい

問 全国の小学校5年生と中学校2年生を対象に、体力や運動能力等に関する調査が実施された。本市の調査結果を伺いたい。

答 教育長 体力テスト8種目の合計点は、小学校男子は全国平均を下回っているが、小学校女子と中学校の男女は全国平均を上回っている。

問 子宮頸がんは、ワクチン接種でほぼ予防ができる。本市でもワクチン接種への公費助成を提言するが考えを伺いたい。

答 福祉保健部長 現在、国が公費助成を検討しているため、その動向を見ながら検討していきたい。

問 住宅版エコポイント制度が施行された。地方自治体は、エコ住宅の建設を後押しするなど、地元地域の活性化につなげる施策が求められている。本市の積極的な取り組みを提言するが考えを伺いたい。

答 福祉保健部長 現在の地域防災計画には、東山梨医師会を指定地方公共機関として位置付け、保健師、日赤奉仕団、消防職員などが連携を図り、塩山市民病院と勝沼病院を拠点とした医療救急体制、及び被災傷病者等の搬送体制が定められている。医療施設が被災した場合は、公施設や災害現場に救護所を設置し、県や他市町村に必要な応援を要請して、適切な医療救護を行っていく。

問 市内学校施設の耐震化計画を伺いたい。

答 教育委員長 平成26年度までに、すべての耐震化を完了する計画である。

問 市民生活部長 この制度に関する情報提供を行うための準備をしている。

問 地域経済活性化の観点から、市が発注する小規模工事等は、請負工事金額が10万円から50万円の範囲内で、契約希望者登録制度を導入したらどうか。

答 総務企画部長 県内自治体の金額を参考にして

問 地震などの災害緊急時における本市の医療体制は、どこまで確立されているのか伺いたい。

答 総務企画部長 県内自治体の金額を参考にして



Q ワンストップサービスの検討状況は

A まだ十分なまともができていない

問 7月から新本庁舎で業務が始まるが、ワンストップサービスの検討状況を伺いたい。

答 総務企画部長 市役所窓口の業務は多岐にわたっており、現時点では十分なまともができていない。

問 新本庁舎が完成すると、外部の公共施設に空きスペースが出てくる。神金地区のモナザイトが置かれていた施設やレックセンターは、今後どのように活用と運営をしていくのか。

答 総務企画部長 神金地区の施設は、多目的倉庫として本年10月31日まで市教育委員会に貸し出ししている。その後は公的活用や民間活用を検討していきたい。レックセンターは、施設の維持管理をしながら使用していく考えである。

問 新庁舎地下テナントは、どのような募集活動をしているのか。

答 総務企画部長 担当



観光振興の観点からも、統一感のある分かりやすいサインシステムの整備が求められている

課が個別の事業所に出向いて依頼をしているが、景気の低迷により大変厳しい状況である。

問 街路灯や防犯灯の整備計画を伺いたい。

答 総務企画部長 防犯灯は、市が設置する物と地

域で設置する物がある。地域の設置には、市から費用の一部が助成される。今後補助金要綱に沿って助成を行っていく。

問 地域の安心安全のために尽力する消防団の活動を、市民の皆さんに理解し

てもらったための取り組みが必要ではないか。

答 総務企画部長 なお一層ご理解をいただければよいように広報していく。

問 塩山市民病院の産科再開の現状を伺いたい。

答 市長 再開に向けて山梨厚生会も最善の努力をしている。市としても、市民の皆さんが安心して出産ができる環境を1日も早く整えるため、全力を挙げて取り組んでいく。

サインシステムの整備計画を示せ

問 サインシステムである観光案内板や施設の名称看板などの整備計画を伺いたい。

答 市民生活部長 庁内検討会議を立ち上げて現状を把握し、景観に配慮した統一感のあるサインシステム計画を検討していく。

問 児童公園を含む市内

の公園の現状と今後の整備計画を伺いたい。また、公園に関する窓口を一元化することはできないか。

答 建設部長 現在市内には102カ所の公園が整備されている。内訳は、地元地域が管理する公園が77カ所、市が管理する公園が25カ所ある。整備や管理の一元化は、財政的に大きな負担が伴うことから難しい。児童公園は引き続き地元で管理運営をお願いしたい。市管理の公園は、整備した補助事業によって担当課が異なるが、窓口の一元化に向けて努力する。

問 本市は市県民税、国保税、固定資産税、軽自動車税をコンビニから納付することができ、一定の成果を挙げている。平成22年度は、電算システム的大幅な入れ替えがあるが、これを機に、他の公共料金もコンビニ収納を可能にすれば、少ない経費で新たなサービスを実施できると考えるがどうか。

答 総務企画部長 他の公共料金も含めて、コンビニ収納が可能になるシステムの構築に向けて取り組んでいきたい。





各総合局では新本庁舎の開庁から休日の日直が廃止されるが、災害等の緊急時における迅速な対応が課題となる

## 一般質問

一 質  
古屋 久議員

Q

### 各課間の連携をどのように図るのか

A

### 部門別連絡調整会議を設置する

問 平成22年度当初予算は、どのような基本方針で編成したのか。

答 市長 優先度と緊急度を十分に加味し、まちの将来像である「豊かな自然、歴史と文化に彩られた果樹園交流のまち甲州市」の実現を目指して、施策の着実な推進を図るための予算を編成した。

問 当初予算の重点事業を伺いたい。

答 総務企画部長 産業面では観光案内サイン整備事業、有害鳥獣防護柵設置事業など。福祉面では子ども医療費助成事業、健やかベッド貸与事業など。基盤整備面では塩山駅エレベーター設置事業、旧下於曾41号線改良事業など。環境面ではごみ減量化及び再生利用推進事業など。教育文化

面では小中学校施設耐震補強事業などである。

問 市役所組織は、新年度から部制を廃止し、課制に移行する。市政推進に不可欠な各課間の連携をどのように図っていくのか。

答 総務企画部長 新たに部門別連絡調整会議を設置し、円滑な事務事業の執行と各課間の連携を図っていく考えである。

問 最近、市職員が受けた取材により、市民に誤解を与えるような報道があった。このようなことを防止するための体制づくりが必要ではないか。

答 総務企画部長 内容に応じて窓口を統一するなど、適切な対応を徹底していきたい。

問 7月に開庁する新本庁舎には各課が集約されるが、勝沼と大和の地域総合局の住民サービス低下を懸念する声がある。当局の見解を伺いたい。

答 総務企画部長 きめ細やかなサービスを提供できるよう取り組んでいく。

問 地域総合局では休日の日直業務が廃止されるが、出生届や婚姻届等の受付業務や災害等への対応はどのように考えているのか。

答 総務企画部長 休日の届出や問い合わせは、本庁舎で対応する。災害時や緊急時は、緊急連絡網により周知を徹底していく。

### 各地域総合局に保健師の配置を

問 健康福祉面で保健師の役割は重要であり、週に数日は地域総合局への配置が望まれているが、当局の考えを伺いたい。

答 福祉保健部長 現在の地区担当制を継続していく。今後は保健師を身近に感じてもらうため、広報紙等で紹介していきたい。

問 森林を元気にするこ

とが求められているが、環境公益林整備事業の実績を伺いたい。

答 観光産業部長 平成18年度からの4年間で、10・44haを整備した。

問 森林整備計画の目標は達成できたのか。

答 観光産業部長 整備率は計画の65割であった。これからも引き続き整備をしていく。

問 間伐などによる森林整備の推進、また、林業や木材産業の再生を図る事業への取り組みを伺いたい。

答 観光産業部長 新規事業や定額補助事業を積極的に取り入れながら、森林整備を推進していきたいと考えている。

問 甲州市が誕生して5年目を迎え、文化祭や市民合唱祭、童謡フェスティバルなどの催しが市民行事として定着してきた。このような中、市長は施政方針で市民歌の制定を明言した。そこでさらに市民の一体感を醸成するため、甲州市合唱団の創設を提案するが市長の考えを伺いたい。

答 市長 わたしも同じ考えである。早速、創設に向けた検討をしていく。



# 医療費の窓口無料化を小3まで拡大

## 塩山診療所を児童クラブとして活用

平成22年甲州市議会3月定例会は、3月1日から25日までの25日間の会期で開かれ、平成22年度の各会計予算案、平成21年度一般会計補正予算案や特別会計補正予算案、条例案、人事案など61件の事件について、慎重な審議を行いました。最終日には、平成22年度一般会計予算案の委員長報告に異議が出され、討論・採決が行われました。主な審議内容を要約してお伝えします。

◆甲州市診療所設置及び管理条例の一部を改正する条例制定については、休診中の松里診療所を廃止するため制定するもので、可決しました。

◆甲州市放課後児童健全育成条例の一部を改正する条例制定については、休診中である塩山診療所の施設の一部を活用し、新たに塩山西児童クラブを設置するため制定するもので、可決しました。

◆甲州市乳幼児医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について

ては、平成22年4月1日から子ども医療費窓口無料化の対象年齢を、未就学児から小学校3年生まで拡大するため制定するもので、可決しました。

◆勝沼中学校校舎耐震補強大規模改修工事（建築主体工事）の請負契約を可決しました。一般競争入札により、契約金額は1億9803万円、請負業者は長田組土木（甲府市）と株高野建設（勝沼町勝沼）の共同企業体となりました。

◆宮光園主屋保存修復

工事の請負変更契約は、既存建物の屋根瓦等に多数の傷みが判明したことから、部材の取り替えが必要となるもので、可決しました。なお、変更後の契約金額は1億8490万5000円で、変更前より220万5000円の増額となりました。

### 副市長に佐藤氏

◆副市長に佐藤繁則氏（63・大和町日影）を選任することに同意しました。

◆萩原山財産区管理委員に岡武男氏（67・塩山中萩原）、田邊民男氏（71・塩山上萩原）、廣瀬重治氏（60・塩山下於曾）を選任することに同意しました。

◆平成22年度甲州市一般会計予算は、異議が出され討論・採決の結果、賛成多数で原案を可決し、歳入歳出それぞれの総額を151億9800万円としました。（歳入歳出の詳しい内容は、19ページのグラフを参照）

◆平成22年度の特別会計・企業会計予算は、それぞれ可決しました。（各会計の歳入歳出総額及び事業収益・費用は、21ページの一覧表を参照）





安全のために取り壊される松里診療所の医師住宅



各常任委員会を含め2.5日間の会期で開催された3月定例会

## 21年度一般会計

# 総額は171億円余

◆平成21年度甲州市一般会計補正予算(第10号)は、6116万6000円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ170億7889万6000円としました。主な歳出は、民生費へ国民健康保険基金安定制度繰出金等に4906万4000円を追加しました。また、総務費は庁舎移転整備事業費等を3406万8000

円、教育費は学校施設地上デジタル設置事業費等を2613万2000円減額するもので、可決しました。

◆平成21年度甲州市一般会計補正予算(第11号)は、国からの臨時交付金交付に伴い、2914万8000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ171億804万4000円としました。主な歳出は、土木費へ道路維持事業費等に3000万円を追加し、総務費は財政調整基金積立金を85万2000円減額するもので、可決しました。

### 2件の請願を審査

◆3月定例会には2件の請願が提出され、関係する常任委員会に付託して審査しました。

▼「改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願」は、①自治体における多重債務相談窓口の拡充を支援すること、②ヤミ金融の徹底的な摘発等を求めたものです。本請願は全会一致で採択され、関係省庁に意見書を提出しました。

▼「日米地位協定に関する裁判権放棄の日米密約の調査・公表・破棄を求める意見書の採択を求める請願」は、日本国内における米兵の公務外犯罪の第1次裁判権の実質放棄を確認した日米密約について、日本政府に調査・公表・破棄を求める意見書の採択を求めたものです。本会議では、本請願を不採択とした総務常任委員長の審査報告に異議が出されましたが、委員長報告のとおり不採択としました。

■採決結果(総務常任委員長の不採択の報告に対して)賛成15・反対2

### 臨時会 経済対策として 臨時交付金を予算化

2月15日に臨時会が開催され、国の経済対策に伴う、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業に関わる補正予算案が審議されました。

◆平成21年度甲州市一般会計補正予算(第9号)は、2億467万1000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ171億4006万2000円としました。主な歳出は、商工費へ観光案内板の改修事業等に800万円、土木費へ勝沼中央公園広場改修事業等に1億1790万円、教育費へ小学校校庭散水施設整備事業費等に5133万8000円を追加しました。歳入は、地方交付税に1627万2000円、国庫支出金に1億8839万9000円を追加するもので、可決しました。



# 平成22年度の予算を審議

# 1551億9800万円の中身を問う

平成22年度の予算案は、各常任委員会へ所管事項ごとに付託され、3月15日から23日にかけて審議を行い、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。「財政運営の健全化を推進するため、引き続き、全庁一丸となつて経費の削減に取り組み中で、優先度、緊急度を十分に吟味したうえで、第1次甲州市総合計画に基づく施策の着実な推進を図るための予算」(施政方針の抜粋)となりました。主な質疑を要約してお伝えします。

## 市税は前年度対比

### 約1億5000万円の減収を見込む

#### 歳入

##### ■市税

問 市税収入は昨年度より減額しているが、一般会計の総額が増えている理由を伺いたい。

答 財政課長 前年度対比で約2億1000万円の増額であり、子ども手当の計上が主な理由である。

問 子ども手当は、国と県の補助金、そして市の負担金であるが、支給対象者数を伺いたい。

答 財政課長 本市の対象者は4642人である。

問 固定資産税が前年度より約2300万円減額しているが見解を伺いたい。

答 税務課長 土地価格の落ち込みにより、総評価見込みが下回り、調定額も低下することになる。

問 定住促進住宅の家賃

収入の積算額を伺いたい。

答 財政課長 赤尾住宅が約562万円、松里住宅が約1213万円、勝沼住宅は約3584万円である。

#### 歳出

##### ■総務費

問 新本庁舎に係る平成21年度・22年度の予算額を伺いたい。

答 財政課長 庁舎移転

整備費として、21年度が約5億8523万円、22年度が約4億9713万円を予定している。

## 新本庁舎周辺の道路改良を実施

### 道路改良を実施

問 新本庁舎周辺の安全対策は考えているのか。

答 管財課長 事故が多い交差点等の道路改良を行

っていく。予算額は3550万円である。

問 新本庁舎の電気代はどれ位かかるのか。

答 管財課長 228万8000円である。現庁舎の3倍を見込んでいます。

問 土地開発公社が保有する事業用地の地価など現状を伺いたい。

答 管財課長 平成20年度末で13事業あり、合計で



新本庁舎の整備に合わせて周辺道路や交差点の改良も行われる

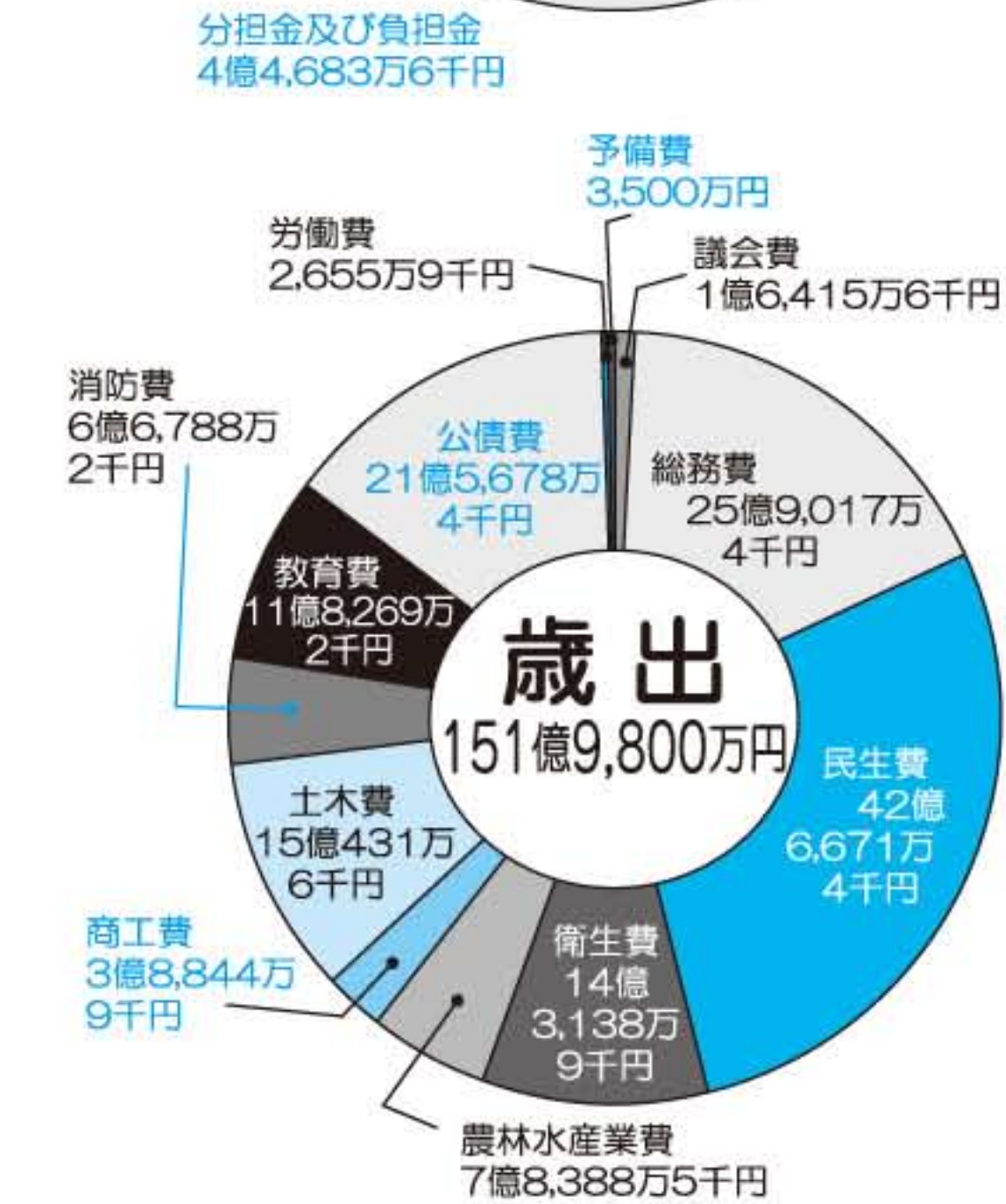
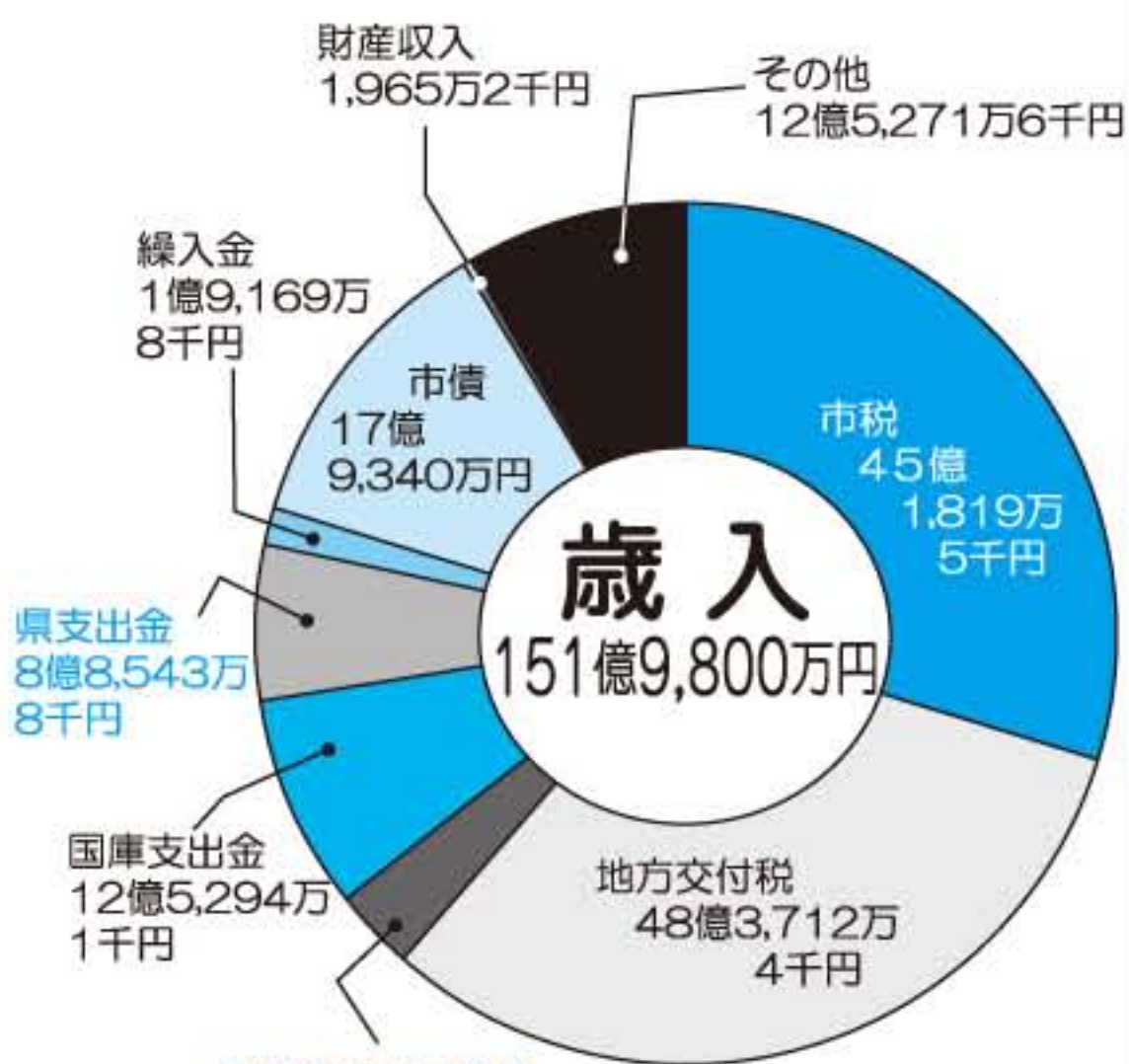




老朽化が進む各公立保育園の園舎。子どもたちの安全確保のためにも万全な対応が求められる

14億2167万9374円である。  
 問 市民バスの委託料を伺いたい。  
 答 市民生活課長 市内縦断バスが1369万6000円、塩山地域循環バスが2646万5000円、自主運営市民バスが4349万2000円である。  
 問 市内の外国人登録者数を伺いたい。  
 答 市民生活課長 男性31人、女性118人で合計149人である。

## 平成22年度 一般会計の予算額 151億9,800万円



■民生費  
 問 保育所の修繕費は約251万円を計上しているが、この金額で十分な対応ができるのか。  
 答 子育て対策課長 老朽化が激しい園舎が多いため、緊急性が高い箇所から修繕する。将来的に保育所の統廃合や民間への移譲が考えられるため、止む得ない部分の予算計上をした。

■児童手当  
 問 子ども手当に必要な予算の内訳を伺いたい。  
 答 子育て対策課長 市の負担額は約6922万円、県補助金から約6921万円、国庫補助金が約4億3818万円、総額は約5億7662万円となる。  
 問 生活保護数の増加状況を伺いたい。  
 答 福祉介護課長 平成21年末で被保護者が162人である。前年の同時期より、20人が増加している状況である。

■衛生費  
 問 東山梨環境衛生組合への負担金を伺いたい。  
 答 環境課長 勝沼地域分と大和地域分を合わせて、約1億1172万円である。  
 問 妊婦一般健康診査の詳細を伺いたい。  
 答 健康増進課長 235人を対象として、14回分の予算を計上している。

■農林水産業費  
 問 ワイン醸造用甲州種ぶどう苗木供給事業は、ワイン会社と契約する農家に苗木が無償で配布されるが、配布後の追跡調査が必要ではないか。  
 答 農林商工課長 5年間の長期栽培契約である。契約が守られない場合は、補助金を返還しなければならない。  
 問 木工芸館の運営状況を伺いたい。  
 答 農林商工課長 平成21年度は160人の利用があった。経費は管理委託料や光熱水費等に約153万円が掛かった。

### 子ども手当予算額は約5億7662万円



## 市道・水路の改修

### 危険箇所を優先して整備

#### ■商工費

問 観光課に關係する指定管理施設があるが、今後の契約書内容を見直すための準備を行う時期だと考えるがどうか。

答 観光課長 公共施設活用検討委員会等で、モデルとなる協定書内容の議論をしていくと考える。

#### ■土木費

問 市道や水路は改修の

陳情等が多いと思うが、整備の順序に決まりなどはあるのか。

答 建設部長 安全に支障がある箇所を優先に整備している。

#### ■消防費

問 市消防団の団員報酬を上げる考えはあるか。

答 総務課長 県内他市と同額くらいであるが、状況を勘案して検討したい。

#### ■教育費

問 市内小中学校の用務員は、シルバー人材センターから1校に2人が交替で派遣されている。1校に1人の配置ができないか。

答 教育総務課長 シルバー人材センターと協議し、配置方法を検討していく。

問 経済的な理由により、小中学校への就学が困難な児童生徒に対し、必要な援助を行う就学援助制度の周知を、きめ細やかに行う必要があるのではないか。

答 教育総務課長 申請書は、各学校や民生委員を

通じて配布している。今後も周知を徹底していく。

#### ■地方債

問 合併特例債を今までいくら使ったのか。

答 財政課長 事業分の

発行可能額は約12.8億6000万円であり、4.7億円余を借り入れた。基金分の発行可能額は1.7億円であり、4億7500万円を借り入れている。

# 特別会計・企業会計

## 国保特別会計

### 市民所得の減少により縮小予算

#### ■国民健康保険事業

問 前年度より予算額が8465万円減額になっているが理由を伺いたい。

答 健康増進課長 市民の所得が減少しているためである。

問 高額介護合算療養費

の概要を伺いたい。

答 健康増進課長 年間の医療費と介護保険利用者負担額の合計が、限度額を超えた分が払い戻される制度である。

問 コンビニ収納で、国税の徴収手数料はいくら

なのか。

答 健康増進課長 収納委託料が79万8000円、複写機使用料が75万6000円、システムリース料が56万3000円である。

#### ■診療所事業

問 居宅療養管理指導収

入を330万円計上しているが、年間の利用者数を伺いたい。

上したのか。

答 勝沼地域総合局長 100万円以上のものは市の負担とし、100万円未満は山梨厚生会の負担となっている。

#### ■病院内の修繕経費

##### 市負担は百万以上

#### ■勝沼病院事業

問 病院内のエレベーター等の修繕経費は、山梨厚生会からの要求により予算計

助金等の支出はない。

答 勝沼地域総合局長 病院事業の運営に対する補助金等の支出はない。



多くの市道や水路で改修が待たれている



# 水道料金の値上げ

## 理解を得るための周知活動を

### ■水道事業

問 3月中旬に水道審議会から値上げに対する答申が出されるが、市民の皆さんの理解を得るための周知活動を要望するがどうか。

答 水道課長 広報紙やホームページ、企業向けのパンフレット等を作成して十分な周知をしていく。

### ■下水道事業

問 浄化槽の設置数が昨年度より増えている。しかし、使用料の収入が減っている理由を伺いたい。

答 都市整備課長 環境省からの補助金は、浄化槽本体の設置分しか対象にならない。それ以外に必要な経費は、市の一般財源を当てているためである。

### ■簡易水道事業

問 工事や建設が必要な簡易水道施設は、どれくらいあるのか。

答 水道課長 塩山地域は、東部簡易水道と玉宮簡易水道の統合整備を平成24年まで行う。勝沼簡易水道施設は、平成27年までの整

備を計画している。

### トンネル貯蔵庫

#### 現在空きはない

### ■ぶどうの丘事業

問 ワインの貸し貯蔵庫であるトンネルワインカーヴの利用状況と売店の営業状況を伺いたい。

答 ぶどうの丘事務局長 現在、個人用も企業用も空きはない。併設する売店は、観光案内をはじめワインやジュース等の販売を行

っている。

問 昨年、宿泊施設の稼働率を10割伸ばすと答弁している。結果的に宿泊予定者数を減らしている理由を伺いたい。

答 ぶどうの丘事業管理者 新型インフルエンザの流行と高速道路1000円の影響し、数字が落ちた。

問 未収金3000万円を計上しているが、長期的なものがあるのか。

答 ぶどうの丘事務局長 10年から15年が経過する長期的な未収金300万円は、特別損失として処理しているため、この未収金には含まれていない。

身分問題は、その後進展があったのか。

答 ぶどうの丘事務局長 組合に対して、「常勤的な非常勤職員」としての身分を提案している。この身分であれば、市町村共済組合の加入も可能である。また、退職金の問題についても交渉の中で結論を出すことを提案した。

### 特別会計の繰入金

#### 算出の方法を示せ

### ■後期高齢者医療

問 一般会計から8600万円の繰入金があるが、どのような算定方法によって金額を決めているのか。

答 健康増進課長 保険基盤安定繰入金は、7割・5割・2割の保険料軽減分を一般会計から繰り入れることになっている。

### ■介護保険事業

問 包括支援センターの職員体制を伺いたい。

答 福祉介護課長 民間事業所から介護支援専門員などが常駐しているが、今年度末で契約期間が終了する。新年度からは、新たな専門職員と保健師による対応に向け調整中である。

## 平成22年度

### 特別会計・企業会計の予算額

国民健康保険事業特別会計	
歳入歳出	39億6,675万4千円
診療所事業特別会計	
歳入歳出	8,862万円
老人保健特別会計	
歳入歳出	635万4千円
後期高齢者医療特別会計	
歳入歳出	3億3,112万円
介護保険事業特別会計	
歳入歳出	24億8,882万8千円
居宅介護予防支援事業特別会計	
歳入歳出	1,000万9千円
訪問看護事業特別会計	
歳入歳出	5,978万円
下水道事業特別会計	
歳入歳出	13億602万7千円
簡易水道事業特別会計	
歳入歳出	5億1,974万3千円
大藤財産区特別会計	
歳入歳出	412万5千円
神金財産区特別会計	
歳入歳出	579万5千円
秋原山財産区特別会計	
歳入歳出	1,810万円
竹森入財産区特別会計	
歳入歳出	132万4千円
岩崎山保護財産区管理会特別会計	
歳入歳出	61万5千円
水道事業会計	
事業収益	4億2,915万9千円
事業費用	4億2,915万9千円
ぶどうの丘事業会計	
事業収益	10億 812万2千円
事業費用	9億8,306万7千円
勝沼病院事業会計	
事業収益	1,938万8千円
事業費用	1,938万8千円



自然が豊かで  
静かなたたずまいのまち

長野県小諸市



小林麗子さん（大和町初鹿野）

わたしの生まれ育ったまちは、長野県小諸市です。現在も活動を続けている浅間山の麓にある観光都市です。小諸は、教員として赴任して来た島崎藤村の「小諸なる古城のほとり……」で始まる「千曲川旅情の詩」で全国に知られるまちになりました。

小諸城は、地元の豪族が築いた小さなお城でしたが、武田信玄公が信州へ進攻した時に、山本勘助が拡張のため設計し築城し直したそうです。信玄公の弟の信繁公が城主になっていた時もありました。現在は大手門と石垣しか残っていませんが、「懐古園」の名で親しまれています。馬場の周りには自然が残っていて、子どもの頃は絶好の遊び場でした。見晴台に立つと、眼下に雄大な流れの千曲川を見ることが出来ます。また、浅間山のほかに、スキー場のある高峰高原、花畑のある池の平湿原などの山々が連なっています。自然が豊かで静かなたたずまいを、今も残しているこのまちがわたしの故郷です。

有料広告



三日月堂株式会社  
オフィス関連商品・文房具  
ピアノ・書道

OA機器・オフィス家具などを中心とした【オフィス関連商品】、文具・学習教材などを取り扱っている【文房具】。そしてピアノ・書道教室からなる【三日月音楽院】から「三日月堂株式会社」は成り立っております。

〒404-0042 山梨県甲州市塩山上於曾1104-3  
TEL: 0553-33-2042(代表) FAX: 0553-33-6007  
URL: http://mikazukido.dezin.jp/



市議会広報 甲州  
『有料広告』を募集!!

(年4回発行 11,650部)

■甲州市議会では、市議会広報の紙面に掲載する有料広告を募集します。発行は、年4回開会される定例会(3月、6月、9月、12月)閉会日の翌月末日の4回です。  
■お申込み・お問合せ 市議会事務局 議事担当 ☎32-2111 内線302

甲州のふるさと  
No.15「甲州チャレンジ・デー」作・三森 清



傍聴してみませんか?

次回の定例会は6月上旬の開会を予定しています。市議会とはなだでも傍聴できますので、ぜひお出かけください。

■傍聴席入口で受付簿に氏名、住所を記入し入場していただきます。  
■日程などについては、定例会前の議会運営委員会決定しますので、決まりました市議会ホームページなどでもご案内します。なお、ご不明な点については、議会事務局までお問い合わせください。 ☎(32)2111 内線302

こちら編集室

■春は退職や就職の季節です。市役所でも3月末日をもって28人の皆さんが退職されました。永きにわたり市政の発展と市民生活の向上にご尽力をいただき、心より感謝を申し上げます。今後も甲州市の発展のために、お力添えをお願いいたします。また、新たに15人の皆さんが採用となりまして、夢と希望を持って市民のために活躍ください。■さて、3月1日に開会した定例会では、条例案12件、予算案18件、補正予算案12件、その他の案件17

件、請願2件が上程され審議を行いました。一般質問では、9人が登壇し市政全般について質問しました。今号の議会広報でも、それらの内容をできるだけ分かり易く、誠心誠意編集しました。ぜひ一読をお願いいたします。また、皆様からのご意見などをお寄せいただけましたら幸いです。(一) ■議会広報編集委員会  
市議会議長 岡 武男  
編集委員長 丸山 国一  
副委員長 廣瀬 陽子  
委員 野尻 陽子  
委員 川口 信子  
委員 平塚 義典  
委員 矢野 義典